

目標値の算出

(1) 歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）

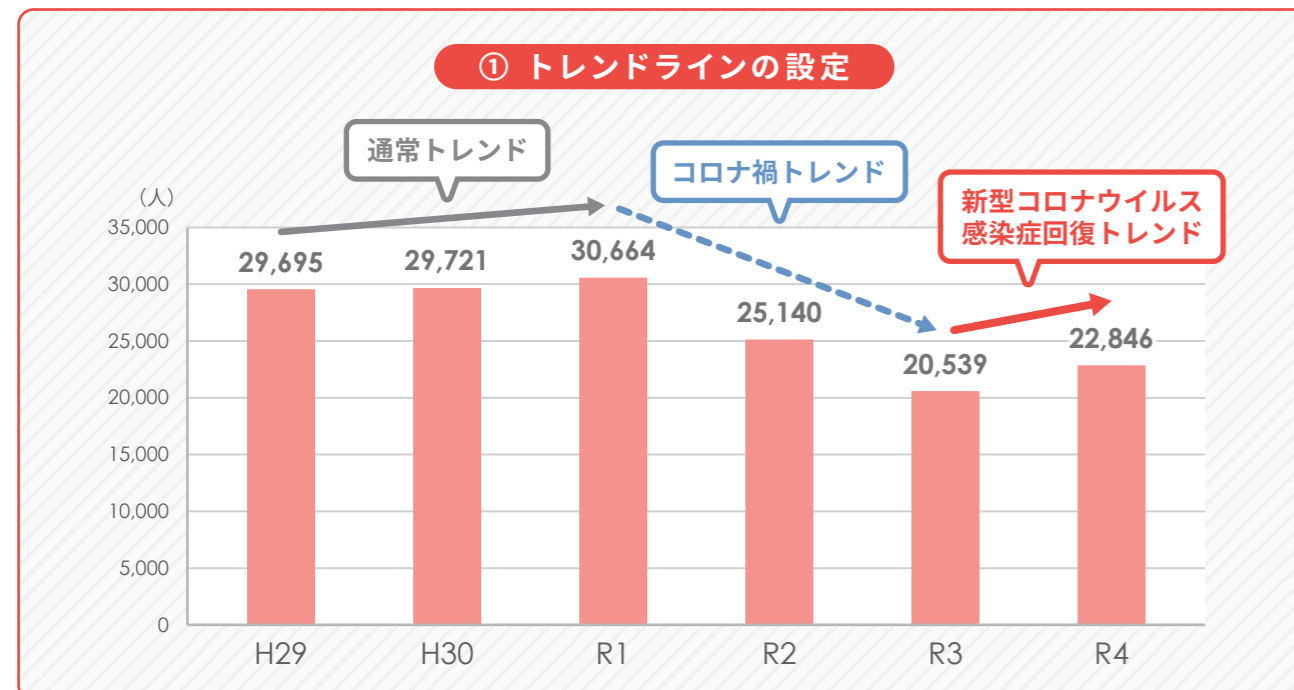
算出の考え方

- 対象は経年的に歩行者・自転車通行量調査を行なっている12箇所。
- 令和3年度調査までは、11箇所を調査していたが、あきた芸術劇場ミルハスや秋田市文化創造館など芸術文化ゾーンに新たな施設が整備されたため、歩行者・自転車通行量の増加が見込まれる「中土橋」を令和4年度調査から追加。
- 令和3年度から令和4年度は歩行者・自転車通行量は回復傾向にあり、この傾向を「新型コロナウイルス感染症回復トレンド」とする。(11箇所(中土橋を除く))
- 平成29年度から令和元年度にかけても、緩やかに歩行者・自転車通行量は増加傾向にあり、この傾向を「通常トレンド」とする。(11箇所(中土橋を除く))

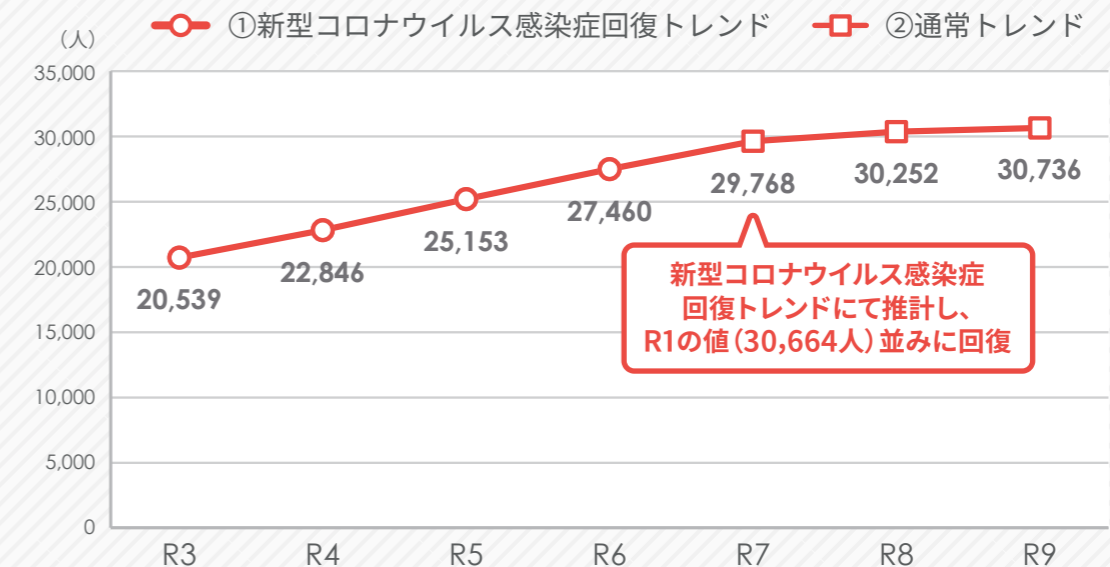
算出方法

- ① 経年的に調査を行なっている11箇所(中土橋を除く)について、令和3年度から令和4年度にかけての回復傾向を近似直線により「新型コロナウイルス感染症回復トレンド」と設定。さらに、平成29年度から令和元年度にかけての緩やかな増加傾向についても近似直線により「通常トレンド」と設定。
- ② ①から、令和9年度の値を算出。
- ③ 「中土橋」については、他箇所の令和4年度から令和9年度の伸び率を掛けて、令和9年度の値を算出。
- ④ ②と③の結果を足し合わせて、目標値を設定。

算出結果



②トレンドラインによる推計値(中土橋以外)



※新型コロナウイルス感染症回復トレンド上で、最もR1の値(30,664人)に近い値に達することにより、感染拡大前の状況に回復することとし、算出した。

③中土橋の目標値設定

$$\text{R4からR9の伸び率} = 30,736人 \div 22,846人 = 1.345$$

$$\text{R9の中土橋の歩行者・自転車通行量 (R4実績値} \times \text{伸び率)} = 1,892人 \times 1.345 = 2,545人$$

④目標値

$$\text{目標値} = 30,736人 + 2,545人 = 33,281人 \div 33,300人$$

※各年の平均値は、(平日通行量×5+休日通行量×2)÷7で算出

※各年7月後半の休日おそびその直後の平日において計測

(2) 芸術文化施設利用者数（1日あたり）

算出の考え方

- 対象は「県立美術館」、「千秋美術館」、「佐竹史料館」、「あきた芸術劇場ミルハス」の4施設。
- 県立美術館は、独自目標値（110,000人/年）を利用。
- 千秋美術館は、改修後の独自目標値（50,000人/年）を利用。
- 佐竹史料館は、建て替え後の独自目標値（48,000人/年）を利用。
- あきた芸術劇場ミルハスは、グランドオープン直後で利用者が好調であった令和4年10月実績値を利用。（令和9年度の目標として、好調であった令和4年10月実績値ベースの利用者数を指す）
- 現況値については、各施設の令和4年度の下記実績から算出。
（あきた芸術劇場ミルハス：R4.6.1～R4.12.31、県立美術館：R4.4.1～R4.12.31、佐竹史料館：R4.4.1～R4.6.30、千秋美術館：R4.4.1～R4.6.12）

算出方法

- ① 県立美術館、千秋美術館、佐竹史料館については、それぞれ各施設の目標値を採用。
（県立美術館110,000人/年、千秋美術館50,000人/年、佐竹史料館48,000人/年）
- ② あきた芸術劇場ミルハスは、令和4年10月の入館者数実績値を基に、秋田市文化会館の平成29年度、30年度（コロナ禍以前の数値を採用）の月別の利用傾向から年間利用者数を推計。
- ③ ①と②を足し合わせ、365日で割り1日あたりの目標値を設定。

算出結果

① 県立美術館、千秋美術館、佐竹史料館の目標値（人/年）

（単位：人）

	目標値	備考
県立美術館	110,000	独自目標
千秋美術館	50,000	改修後の目標
佐竹史料館	48,000	建て替え後の目標

② あきた芸術劇場ミルハス

■ グランドオープン後の10月～12月の入館者数実績値

（単位：人）

	R4.10	R4.11	R4.12
実績値	79,354	71,775	35,353

■ 秋田市文化会館の貸し施設の利用実績（月間の利用傾向）

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
H29年度	26,141	24,473	30,654	36,387	31,234	40,194
H30年度	24,225	23,989	39,684	47,282	38,350	51,686
平均	25,183	24,231	35,169	41,835	34,792	45,940
比率（対10月）	48%	46%	67%	80%	67%	88%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H29年度	52,863	43,108	24,556	21,490	24,837	25,336
H30年度	51,516	46,920	31,743	26,738	29,068	32,013
平均	52,190	45,014	28,150	24,114	26,953	28,675
比率（対10月）	100%	86%	54%	46%	52%	55%

■ 推計値

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ミルハス	38,300	36,800	53,500	63,600	52,900	69,900

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ミルハス	79,400	68,400	42,800	36,700	41,000	43,600	626,900

③ 目標値

目標値

$$(110,000人/年 + 50,000人/年 + 48,000人/年 + 626,900人/年) \div 365 \\ \doteq 2,300人/日$$

（参考）現況値

	ミルハス	県立美術館	佐竹史料館	千秋美術館	計
入館者数（人）	305,219	66,314	3,319	5,673	—
日数（日）	214	275	91	73	—
1日あたり（人）	1,426	241	36	78	1,782

(3) 市内総人口のうち中心市街地人口が占める割合

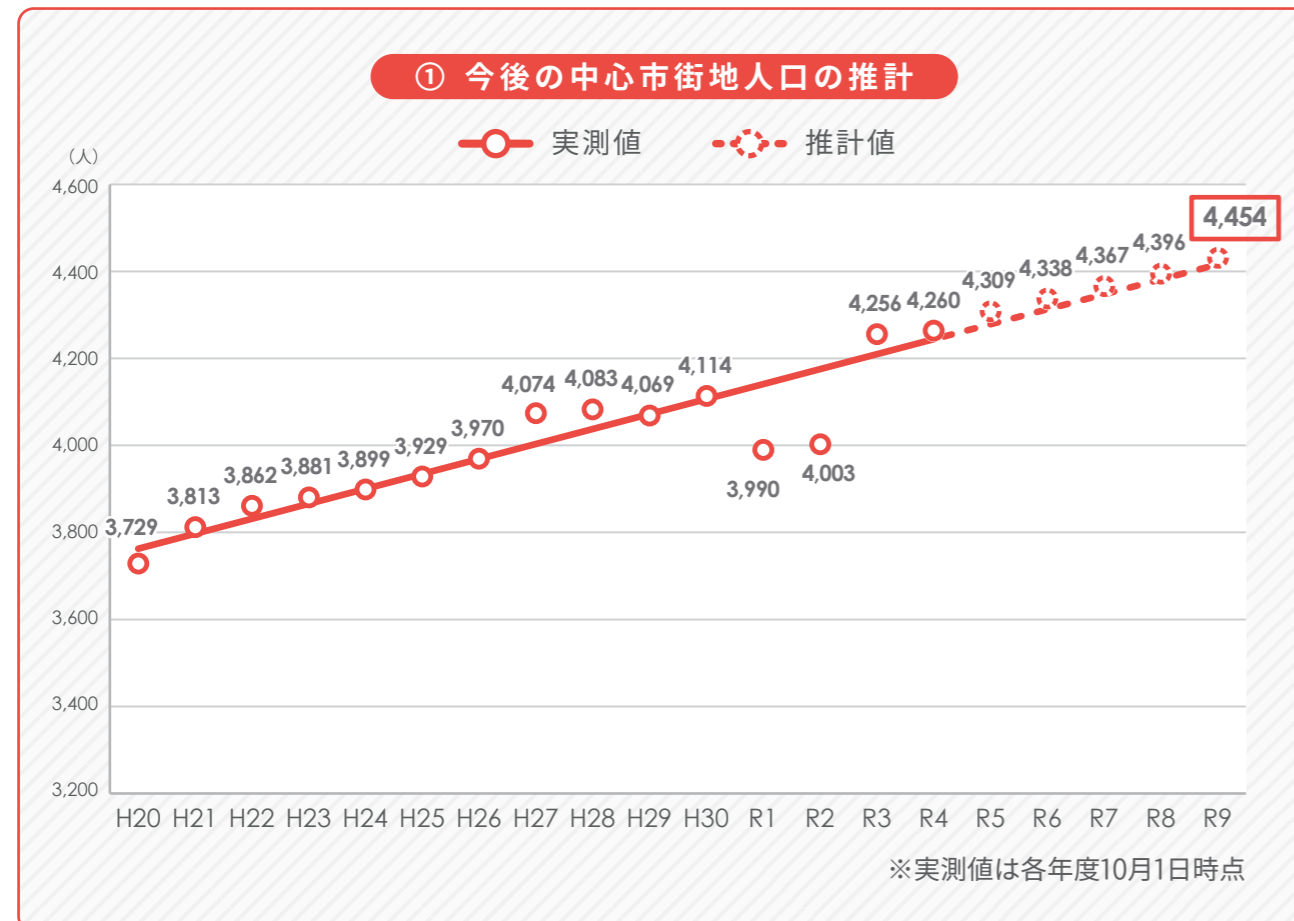
算出の考え方

- 今後の中心市街地人口の推計には平成20年度～令和4年度の傾向を利用。
- その他、現在計画されているマンション建設とリフォーム事業による人口増加を加味。
- 秋田市の総人口は「秋田市人口ビジョン」の目標より推計。

算出方法

- ① 将来の中心市街地人口を平成20年度～令和4年度のトレンドから近似直線により算出。
- ② 令和4年10月以降に供給予定のマンション戸数に秋田市の平均世帯人員2.2人を掛け、マンション建設による増加人口を算出。
- ③ 中心市街地におけるリフォーム事業が平成29年度～令和3年度にかけ年間平均7件実施されており、今後も同程度の傾向で推移すると仮定し、秋田市の平均世帯人員2.2人を掛けリフォーム事業による増加人口を算出。
- ④ ①～③で算出した各人口を足し合わせて、中心市街地人口を算出。
- ⑤ 秋田市人口ビジョンから令和9年度の秋田市の目標人口を推計し、算出。
- ⑥ ④と⑤から中心市街地の人口割合を算出し、目標値を設定。

算出結果



② R4.10～R9にマンション建設により見込まれる増加

	計	備考
①供給戸数	516	
②平均世帯人員	2.2	秋田市平均世帯人数
③増加人口 (①×②)	1,135	

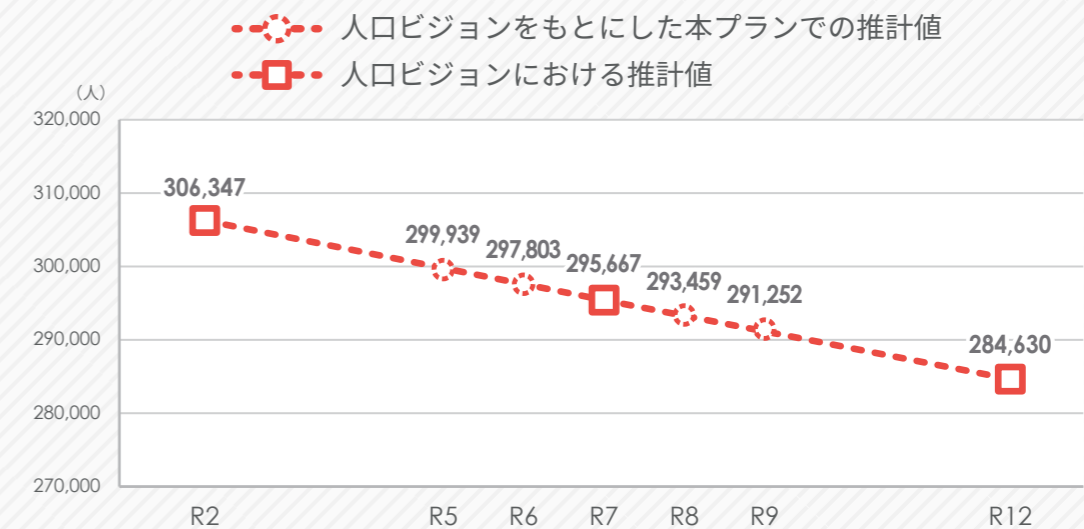
③ リフォーム事業による増加

	計	備考
①実施件数	35	H29～R3の平均×5年
②平均世帯人員	2.2	秋田市平均世帯人数
③増加人口 (①×②)	77	

④ R9の中心市街地の人口

中心市街地の人口 (R9) $4,454人 + 1,135人 + 77人 = 5,666人$

⑤ 秋田市将来人口推計



⑥ 目標値

目標値 (中心市街地の人口割合) $5,666人 \div 291,252人 \div 1.9\%$

現況 (R4の中心市街地の人口割合) $4,260人 \div 303,048人 \div 1.4\%$

(4) 商業集積促進関連制度の利用件数 (累計)

算出の考え方

- 対象は「中心市街地等空き店舗対策事業」、「中心市街地出店促進融資あっせん事業」「商工業振興奨励措置事業」の利用件数の合計とする。
- 第2期計画の実績が目標値を大幅に上回ったため、その実績の維持を目標とする。

商業集積促進関連制度の利用件数

	(件/年)					
	H29	H30	R1	R2	R3	計
商業集積促進関連制度の利用件数	41	31	47	28	34	181

算出方法

- ① 第2期計画の実績値181件 (平成29年度～令和3年度の累計) の維持。

(5) 市民活動等施設利用件数

算出の考え方

- 対象は「にぎわい交流館AU」、「市民交流プラザ」、「市民交流サロン」、「秋田市文化創造館」。
- にぎわい交流館AU、市民交流プラザ、市民交流サロンについては、新型コロナウイルス感染症影響前の令和元年度実績回復を目標とする。
- 秋田市文化創造館は、他施設における令和3年度と令和元年度との比率から推計し、算出。

算出方法

- ① にぎわい交流館AU、市民交流プラザ、市民交流サロンについては、新型コロナウイルス感染症影響前の令和元年度実績。
- ② 秋田市文化創造館は、令和3年度の実績値を基に、他施設における令和3年度と令和元年度との比率を掛け、令和9年度の値を推計し、算出。
- ③ ①～②を足し合わせて目標値を設定。

① 各施設のR1からR3の実績

	(件/年)		
	R1	R2	R3
にぎわい交流館AU	12,993	10,601	11,173
市民交流プラザ	5,970	3,413	3,831
市民交流サロン	422	232	320
計	19,385	14,246	15,324

② 秋田市文化創造館

- 3施設におけるR3とR1との比率 (19,385÷15,324≒1.26)

	(件/年)	
	実績	推計 (R3×1.26)
	R3	R9
秋田市文化創造館	196	246

③ 目標値

目標値 (市民活動等施設利用件数)

$$12,993 \text{ 件/年} + 5,970 \text{ 件/年} + 422 \text{ 件/年} + 246 \text{ 件/年} \\ = 19,631 \text{ 件/年} \approx 19,700 \text{ 件/年}$$